

# 令和8年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査実施要項

岩手県教育委員会事務局学校教育室

## 1 調査趣旨

各小・中・義務教育学校において、児童生徒一人ひとりの学習の定着状況と分析結果からつまずきの内容や要因等を把握し、一人ひとりを伸ばす指導の充実を図る。

また、明らかになった学習指導上の問題点を、各種研修会や学校訪問指導等の様々な教育施策に反映させることにより、本県すべての教員の指導力向上に資する。

## 2 調査内容

### (1) 教科調査、児童生徒質問調査

児童生徒が活用する ICT 端末等を用いた、文部科学省 CBT システム（以下「MEXCBT」という。）によるオンライン方式（以下「CBT」（= Computer Based Testing）という。）で実施する。

小学校及び義務教育学校第5学年 国語・算数、児童質問調査

中学校第2学年及び義務教育学校第8学年 数学・英語、生徒質問調査

※義務教育学校は、実施要項等調査実施に係る文書において、小学校第5学年を義務教育学校第5学年、中学校第2学年を義務教育学校第8学年とし、実施する。

※中学校英語の教科調査にはリスニング問題も含まれる。

### (2) 学校質問調査

オンライン回答（Microsoft Forms）により実施する。

## 3 調査対象

当該学年全児童生徒を対象に調査を実施する。

- ・知的障がいの教育課程で学習している児童生徒については、児童生徒本人、保護者と合意形成を図りつつ、学校長が調査の実施の有無について判断する。
- ・支援を必要としている児童生徒に対しては、児童生徒本人、保護者と合意形成を図りつつ、学校長の判断により、別室での調査実施や時間延長など必要な配慮を行う。
- ・県立特別支援学校小学部第5学年、中学部第2学年の児童生徒のうち、希望する者に対して調査の機会を提供する。

## 4 調査実施日

### (1) 教科調査・児童生徒質問調査

①期 日 令和8年10月7日(水) ※原則、10月第1水曜日

※やむを得ない事情により、当日実施できなかった場合は、後日実施するかどうかについて、市町村教育委員会に相談すること。

②時 間 1教科につき、小学校は45分間、中学校は50分間とする。

※児童生徒質問調査は、質問項目内容の関係上、教科調査終了後の「帰りの会」等の時間に実施すること。

### (2) 学校質問調査

①令和8年9月30日(水)～10月7日(水)の期間に Microsoft Forms で回答

## 5 調査範囲

原則として、前学年までの内容に、以下を加える。

- ・小学校第5学年
  - ①国語 第5学年の1学期までの内容
  - ②算数 「整数と小数」から「偶数と奇数、倍数と約数」まで
- ・中学校第2学年
  - ①英語 第2学年の9月までの内容
  - ②数学 「式の計算」、「連立方程式」、「一次関数（2節 1次関数の性質と調べ方まで）」

## 6 調査結果の取扱い

### (1) 各学校の取組について

- ① 各学校においては、調査結果を十分に分析し、結果を基に事後指導を行うこと。
- ② 問題等については、令和8年1月15日付け教学第1644号「過去の諸調査問題の活用ガイドライン」(令和8年1月改定)に基づき、適切な活用を積極的に行うこと。具体的には、評価問題等の教材として活用することが考えられること。

③ 内容の定着状況を踏まえ、検証改善サイクルの視点から、自校の指導計画等の改善を図り、指導と評価の一体的な充実に生かすこと。

(2) 調査結果の情報提供について

県教育委員会は、次の①、②について本調査の集計・分析シートを作成し、各市町村教育委員会及び各学校に情報提供する。

① 各学校に対して、学校及び学級の状況、児童生徒の状況

② 市町村に対して、市町村の状況、所管する学校の状況

(3) 調査結果の公表について

県教育委員会は、調査結果を研修事業の推進等、今後の教育施策に生かすため、県全体の状況について公表する。(各市町村及び学校の結果については、公表しない。)

調査結果が、学校・学級間の序列化及び競争につながらないように十分に留意するものとする。

## 7 調査実施に当たって

### (1) 実施スケジュール

主な実施項目	県教委等	学校
事前検証 (サンプル問題)	8月上旬に学校へマニュアルを配付する。	・8月下旬～9月中旬に実施し、短答式・記述式問題を採点する。 ・選択式問題は自動採点される。
本調査	8月下旬に学校へマニュアルを配付する。	10/7 (水) に実施する。
教科調査	・実施3ヶ月前に搭載申請をする。 ・配信可能日は別途連絡する。	・実施前日までに児童生徒の端末へ問題配信 ・MEXCBT で実施
児童生徒質問調査	・実施3ヶ月前に搭載申請をする。 ・配信可能日は別途連絡する。	・教科調査と同日にMEXCBT で回答
学校質問調査	・9月下旬に学校へ配付する。 ・10月中旬までに集計する。	・9月30日(水)～10月7日(水)の期間にMicrosoft Forms で回答する。
採点		・実施後1週間以内に短答式・記述式問題を採点する。 ・選択式問題は自動採点される。
児童生徒の結果確認	・実施1週間後に採点結果を処理	・左の処理から数日後に結果の確認ができる。 ・児童生徒は各自の端末から自身の結果を確認できる。 ・学校は教員の端末から児童生徒の結果を確認できる。 ・結果の分析を行う。
県全体の集計結果	・10月下旬に県全体の集計結果を配付する。	

(2) MEXCBT を使用するための事前準備

① MEXCBT 利用の手順は学習 e ポータルのマニュアルを確認

利用している学習 e ポータルにより、MEXCBT の利用手順は異なることから、詳細は学習 e ポータルのマニュアル等を参照すること。

② MEXCBT に関する問い合わせは所管する市町村教育委員会へ行うこと。

(3) 実施する際の準備物

○ヘッドセット (中学校英語)

中学校英語ではリスニング問題があることから、文部科学省から配布されたヘッドセットを使用するか、学校で保有するイヤホンや生徒個人が普段授業等で利用している使い慣れたイヤホンを使用することも可能。

(4) 相談体制

① 市町村教育委員会においては、所管の学校からの相談に対応するなど適切な指導・助言を行う。

② 県教育委員会は、調査実施に当たっての市町村教育委員会及び学校等からの問合せ等に対応するため、民間機関に委託して、コールセンターを設置する。

## 8 その他

- (1) 事前検証マニュアル及び本調査マニュアル、集計・分析シートの運用要項等については、後日通知する。
- (2) 個人情報の保護等について
  - ① 学校教育室及び学校教育室が委託した民間機関は、児童生徒の氏名を取得しない形式を用いることとする。
  - ② 県教育委員会が委託した民間機関は、個々の児童生徒を識別することを目的として、市町村教育委員会及び各学校等に対して、氏名を取得しない形式での実施方法（匿名加工）に関する情報その他の情報を取得し、調査結果等と照合しないこととする。